

# 音 楽

## (器楽合奏)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 751	A 4 変型 106	令和2年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 752	A 4 変型 106	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 【学年の目標】

#### 〔第1学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

#### 〔第2、3学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

## 3 教科書の調査研究

### (1) 内容

#### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 演奏形態別の曲数	教科の目標	曲
b 我が国や郷土の伝統音楽の曲数	教科の目標	曲
c 諸外国の音楽の曲数	教科の目標	曲
d 取り上げている楽器の種類別の数	教科の目標	楽器
e 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

## イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究項目の a、b、d 及び e との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 演奏形態（別紙2-1）
- b 我が国や郷土の伝統音楽（別紙2-1）
- d 楽器の種類と楽器編成（別紙2-1）
- e 発展的な内容を取り上げている箇所（別紙2-2）

### <その他>

#### \*1 国旗・国歌の扱い

< 調査の結果、\*1について記載のないことを確認した。 >

#### \*2 防災や自然災害の扱い（別紙2-3）

#### \*3 オリンピック・パラリンピックの扱い

< 調査の結果、\*3について記載のないことを確認した。 >

### ② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 中学校学習指導要領「第2章 第5節 音楽」の「目標」に、「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することを規定している。西洋音楽に用いる楽器だけではなく、和楽器や世界の諸民族の楽器を、指導上の必要に応じて取り扱うことによって、我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めるとともに、様々な音楽文化に対する興味・関心を高めることを大切にしている。また、そのことによって、国際社会に生きる日本人の育成を図るという視点も大切である。

また、中学校学習指導要領「第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の中に、以下の記述がある。

2 (3) 各学年の「A表現」の(2)の器楽の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 器楽教材は、次に示すものを取り扱うこと。

(ア) 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切で、生徒にとって親しみがもてたり意欲が高められたり、生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れたりできるもの。

イ 生徒や学校、地域の実態などを考慮した上で、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、3年間を通じて1種類以上の和楽器を取り扱い、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

以上のような趣旨から、器楽の表現教材について取り扱う題材（題目）名や楽器の種類に注目して調査を行う。

また、生徒が表現方法や表現形態を選択し音楽活動の楽しさを体験することができるよう、それぞれの曲の数の調査のみならず、項目名、曲名、楽器の種類、演奏形態、楽器の編成などについて、具体的に調査する。

- ・ 発展的な内容については、学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。

これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(e)

- ・ 国旗・国歌については、学習指導要領に基づき、国旗・国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てることが大切であることから、その扱いについて調査する。  
(\*1)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する>(\*2)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する>(\*3)

### ③ 調査研究の方法

#### \* 題材(項目)名

- a) 曲名、演奏形態、作曲家等を調査する。
- b) 我が国の伝統的な楽器で演奏する楽曲を調査する。
- d) 取扱いのある楽器の種類と楽器編成を調査する。
- e) 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

- \*1 国旗・国歌について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \*2 防災や、自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \*3 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

## (2) 構成上の工夫(調査結果は「別紙3」)

以下の観点により、箇条書きで記述する。

- ア 目次、表記、表現の工夫
- イ 絵、図、写真、資料、楽譜等の工夫
- ウ 単元構成の工夫
- エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- オ ユニバーサルデザインの視点
- カ デジタルコンテンツの扱い
- キ その他

「別紙1」 【(1) 内容ア 調査研究の総括表】 (中学校 器楽合奏)

項目	a 演奏形態別の曲数			b 我が国や郷土の伝統音楽の曲数 曲数	c 諸外国の音楽の曲数 曲数	d 取り上げている楽器の種類別の数							e 発展的な内容を取り上げている箇所数			
	独奏・斉奏	重奏・合奏	いろいろな楽器による合奏			計	和楽器	諸外国の楽器 (世界の諸民族の楽器を含む)				電子楽器		その他(手作り楽器を含む)	計	
発行者						弾き物(弦楽器)	吹き物(管楽器)	打ち物(打楽器)	弦楽器	リコーダー	リコーダー以外の管楽器	打楽器	鍵盤楽器			
教出	37	27	10	74	24	2	2	5	1	1	0	5	1	0	3	20
教芸	26	20	10	56	17	2	2	5	1	1	0	12	1	1	7	32
平均値	31.5	23.5	10.0	65.0	20.5	2.0	2.0	5.0	1.0	1.0	0.0	8.5	1.0	0.5	5.0	26.0
																1.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入した。

○aの独奏・斉奏は単旋律を1種類の楽器で独奏、斉奏する楽曲をカウントした。

重奏・合奏は複数の同属楽器による二重奏以上の楽曲を組み合わせた楽曲をカウントした。

いろいろな楽器による合奏は、2種類以上の楽器の組み合わせによる楽曲をカウントした。

○bの我が国や郷土の伝統音楽の曲数は、我が国の伝統的な楽器(箏・三味線・尺八・篠笛など)で演奏する楽曲をカウントした。

○cの諸外国の曲は、我が国を除く諸外国の芸術音楽・民俗音楽・ポピュラー音楽等の楽曲をカウントした。

○dの楽器の種類別の数は、取扱いのある楽器の種類合計数である。(例：アルトリコーダーとソプラノリコーダーは、「リコーダー」として「1カウント」。) )

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 器楽合奏)

発行者	題材(項目)名	a-1 曲名	a-2 演奏形態	b、c 作曲家等	b 我が国や郷土の伝統音楽	d 楽器の種類と楽器編成
教 出	演奏の仕方を身につけよう リコーダー	リズム de ゴー	独奏・斉奏	金子健治	日本	SRまたはAR
		しりとりに歌	独奏・斉奏	金子健治	日本	SRまたはAR
		チャイニーズ・ダンス	独奏・斉奏	金子健治	日本	SR・AR
		喜びの歌	独奏・斉奏	ベートーヴェン		AR
		オーラ・リー	独奏・斉奏	プールトン(金子健治編曲)		AR
		メリーさんの羊	二重奏	作曲者不明(金子健治編曲)		SR・AR
		カノン1	三重奏	金子健治	日本	AR3
		うみ	独奏・斉奏	井上武士	日本	AR
		アメーzing・グレイス	二重奏	作曲者不明(金子健治編曲)		AR2
		ロング・ロング・アゴー	独奏・斉奏	ペイリー(金子健治編曲)		AR
		ソナタK.331	二重奏	モーツァルト(勝田昭子編曲)		AR2
		サムのひとりごと	独奏・斉奏	金子健治	日本	SRまたはAR
		誰も知らない私の悩み	独奏・斉奏	スピリチュアル(金子健治編曲)		SR
		レヴェル・ブレイン	独奏・斉奏	フェイ(金子健治編曲)		AR
		カノン2 優しき流れ	三重奏	ヘイズ(金子健治編曲)		SR3または、AR3
		きらきら星	二重奏	フランス民謡(金子健治編曲)		AR2または、SR・AR
		浜辺の歌	独奏・斉奏	成田為三	日本	SRまたはAR
		威風堂々	二重奏	エルガー(金子健治編曲)		AR2または、SR・AR
		カノン3 うぐいすのカノン	三重奏	ハイドン(金子健治編曲)		AR3
		大きな古時計	独奏・斉奏	ワーグ(金子健治編曲)		AR
フランケンブルク協奏曲第2番から 第2楽章	二重奏	J.S.バッハ(金子健治編曲)		SR・AR		
演奏の仕方を身につけよう 篠笛	たこたこあがれ ひらいたひらいた さくらさくら 子守歌 祭囃子	たこたこあがれ	独奏・斉奏	わらべ歌(福原徹構成)	日本(伝)	篠笛
		ひらいたひらいた	独奏・斉奏	わらべ歌(福原徹構成)	日本(伝)	篠笛
		さくらさくら	独奏・斉奏	日本古謡(福原徹編曲・構成)	日本(伝)	篠笛
		子守歌	独奏・斉奏	日本古謡(福原徹構成)	日本(伝)	篠笛
		祭囃子	いろいろな楽器による合奏	福原徹構成	日本(伝)	篠笛・締太鼓
		もういいかい	独奏・斉奏	わらべ歌	日本(伝)	尺八
		アニー・ローリー	独奏・斉奏	スコット夫人		ギター
		Happy Birthday to You	独奏・斉奏	M.J.&P.S.ヒル(大谷環編曲)		ギター
		カリンカ	二重奏	ロシア民謡(大谷環編曲)		ギター2
		ラ・クンパルシータ	二重奏	ロドリゲス(大谷環編曲)		ギター2

(表中の記号) SN:ソプラノリコーダー SR:ソプラノリコーダー AR:アルトリコーダー TR:テナーリコーダー BR:バスリコーダー (伝):我が国や郷土の伝統的な音楽

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 器楽合奏)

発行者	題材(項目)名	a-1 曲名	a-2 演奏形態	b、c 作曲家等	b 我が国や郷土の伝統音楽	d 楽器の種類と楽器編成
教 出	演奏の仕方を身につけよう Let's Play! 演奏の仕方を身につけよう Let's Play!	練習曲 1	独奏・斉奏		日本(伝)	箏
		練習曲 2	独奏・斉奏		日本(伝)	箏
		練習曲 1・練習曲 2	二重奏		日本(伝)	箏 2
		さくらさくら	独奏・斉奏		日本(伝)	箏
		荒城の月	独奏・斉奏		日本(伝)	箏
		箏曲「六段の調」	独奏・斉奏		日本(伝)	箏
		さくらさくら	独奏・斉奏		日本(伝)	三味線
		長唄「勸進帳」から 寄せの合方	いろいろな楽器による合奏		日本(伝)	三味線・打楽器(大鼓、小鼓、ウッドブロック、ボンゴ)
		もみじ	二重奏		日本	AR 2
		故郷	二重奏		日本	AR 2
		故郷の人々	二重奏			SR 2
		シチリアーナ	いろいろな楽器による合奏			SRまたはAR・伴奏楽器
		カントリー・ロード	いろいろな楽器による合奏			SRまたはAR・低音楽器
		木星(組曲「惑星」から) 一番星みつけた 夜空を見上げて 一番星みつけた/夜空を見上げて	四重奏 独奏・斉奏 独奏・斉奏			SR・AR・TR・BR 篠笛 篠笛 篠笛 3
荒城の月	二重奏			日本(伝)	箏 2	
不思議な旋律 PART-1	いろいろな楽器による合奏			日本(伝)	リコーダー・鍵盤楽器・低音楽器・小太鼓またはタンブリン・大太鼓・三味線・箏など	
キエフの大門(組曲「展覧会の絵」から)	二重奏				AR 2	
風のとおり道(「となりのトトロ」から)	二重奏			日本	AR 2	
風笛	二重奏			日本	SR 2	
春(「四季」から)	いろいろな楽器による合奏				SR 2・低音楽器またはSR・AR・低音楽器	
メヌエット	いろいろな楽器による合奏				SR・AR・伴奏楽器	
不思議な旋律 PART-2	いろいろな楽器による合奏			日本	リコーダー・鍵盤楽器・低音楽器・ギター・小太鼓またはタンブリン・大太鼓など	
さくらさくら	二重奏			日本(伝)	箏 2	
こきりこ節	二重奏			日本(伝)	箏 2	

(表中の記号) SN: ソプラノリコーダー SR: ソプラノリコーダー AR: アルトリコーダー TR: テナーリコーダー BR: バスリコーダー (伝): 我が国や郷土の伝統的な音楽

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 器楽合奏)

発行者	題材(項目)名	a-1 曲名	a-2 演奏形態	b、c 作曲家等	b 我が国や郷土の伝統音楽	d 楽器の種類と楽器編成	
	合わせて演奏しよう Let's Try!	もののけ姫	二重奏	久石譲(眼龍義治編曲)	日本(伝)	箏2	
		千の海響 望の章	三重奏	林英哲作曲・構成	日本(伝)	長胴太鼓・桶胴太鼓・締太鼓	
		ライディーン	いろいろな楽器による合奏	高橋幸宏(川崎絵都夫編曲)	日本	AR・鍵盤楽器・低音楽器・小太鼓またはタンブリン・大太鼓など	
		ジョイフル コンビネーション1	三重奏	滝口亮介	日本	手拍子・膝打ち・足踏み	
		ジョイフル コンビネーション2	いろいろな楽器による合奏	滝口亮介	日本	手拍子・膝打ち・足踏み・歌またはARなど	
教 出		シューベルトの子守歌	独奏・斉奏	シューベルト			SRまたはAR
		フルタバ(メルダウ)(連作交響詩「我が祖国」から)	独奏・斉奏	スメタナ			AR
		冬(「四季」から)	独奏・斉奏	ヴィヴァルディ			AR
		組曲「展覧会の絵」(プロムナード)	独奏・斉奏	ムソルグスキー			AR
		交響曲第5番ハ短調(第4楽章)	独奏・斉奏	ベートーヴェン			ARまたはSR
	交響組曲「シエラザード」(第3楽章)	独奏・斉奏	リムスキー・コルサコフ			AR	
	ボレロ	独奏・斉奏	ラヴェル			SRまたはAR	
	凱旋の行進曲(オペラ「アイダ」第2幕第2場から)	独奏・斉奏	ヴェルディ			SRまたはAR	
赤とんぼ	独奏・斉奏	山田耕柞(眼龍義治構成)		日本(伝)	箏		
グリーンズリーブス	独奏・斉奏	イングランド民謡(大谷環編曲)			ギター		

(表中の記号) SN:ソプラノリコーダー SR:ソプラノリコーダー AR:アルトリコーダー TR:テナーリコーダー BR:バスリコーダー (伝):我が国や郷土の伝統的な音楽



「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 器楽合奏)

発行者	題材(項目)名	a-1 曲名	a-2 演奏形態	b、c 作曲家等	b 我が国や郷土の伝統音楽	d 楽器の種類と楽器編成
教 芸	アンサンブルセミナー	聖者の行進	二重奏	アメリカ民謡(浦田健次郎編曲)		AR2またはSR2
		千の風になって	いろいろな楽器による合奏	新井満(長谷部匡俊編曲)	日本	任意の楽器4(SR・AR・鍵盤ハーモニカ・竝琴・木琴・低音楽器・電子キーボードなど)
		風にのって	二重奏	ヒダノ修一	日本(伝)	太鼓2
		喜びの歌	独奏・斉奏	L.v. ベートーヴェン		ARまたはSR
		さんぽ道	独奏・斉奏	岡部栄彦	日本	AR
		かっこう	二重奏	ドイツ民謡(黒澤吉徳編曲)		AR2またはSR2
		そととやさしく	二重奏	ドイツ民謡(吉澤実編曲)		AR2またはSR2
		カノン1(輪奏)	四重奏	M.ハウプトマン		AR4またはSR4
		カノン2(輪奏)	三重奏	オーストリア民謡(吉澤実編曲)		AR3
		オーラリー	独奏・斉奏	G.R.プールトン		ARまたはSR
	リコーダー	アニメーローリー	独奏・斉奏	スコットランド民謡		ARまたはSR
		虹の彼方に	独奏・斉奏	H.アーレン		ARまたはSR
		カノン3(輪奏)	四重奏	C.G.ヘーリング		AR4
		ラヴァーズコンチェルト	二重奏	D.ランデル・S.リンザー(橋本祥路編曲)		AR2
		きらきら星	独奏・斉奏	フランス民謡		ARまたはSR
		威風堂々	独奏・斉奏	E.エルガー		ARまたはSR
		木かげの思い出	二重奏	ウェールズ民謡(北里康太郎編曲)		AR2
		ふるさと	二重奏	岡野貞一(橋本祥路編曲)	日本	AR2またはSR・AR
		カントリーロード	独奏・斉奏	B.ダノフ・T.ニヴァート・J.デンヴァー		ギター
		大きな古時計	独奏・斉奏	H.C.ワーク(大萩康司編曲)		ギター
箏	虫づくし	独奏・斉奏				箏
	姫松	独奏・斉奏	作曲家不詳(長谷川慎探譜)	日本(伝)		
	「六段の調」から“四段”	独奏・斉奏	日本古謡(長谷川慎楽譜構成)	日本(伝)		
	さくらさくら	独奏・斉奏	八橋椋枝(長谷川慎楽譜構成)	日本(伝)		
三味線	こきりこ	独奏・斉奏	独奏・斉奏	日本古謡(長谷川慎編曲)	日本(伝)	三味線
	天高く鳴り響け	二重奏	独奏・斉奏	富山県民謡(今藤政音編曲)	日本(伝)	
篠笛	たこたこあがれ	独奏・斉奏	独奏・斉奏	ヒダノ修一	日本(伝)	太鼓2
	ほたるこい	独奏・斉奏	独奏・斉奏	わらべ歌(西川浩平採譜・編曲)	日本(伝)	篠笛
	火祭りの踊り	二重奏	二重奏	わらべ歌(西川浩平採譜・編曲)	日本(伝)	篠笛
		いろいろな楽器による合奏	二重奏	いろいろな楽器による合奏	西川浩平	日本(伝)

(表中の記号) SN: ソプラニーノリコーダー SR: ソプラノリコーダー AR: アルトリコーダー TR: テナーリコーダー BR: バスリコーダー (伝): 我が国や郷土の伝統的な音楽

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 器楽合奏)

発行者	題材(項目)名	a-1 曲名	a-2 演奏形態	b、c 作曲家等	b 我が国や郷土の伝統音楽	d 楽器の種類と楽器編成
尺八	夕やけ こやけ		独奏・斉奏	わらべ歌(藤原道山採譜)	日本(伝)	尺八
	E d e l w e i s s (ミュージカル「The Sound Of Music」から)		二重奏	R. ロジャーズ(飯沼信義編曲)		AR2
	星の世界		三重奏	C. C. コンヴァース (浦田健次郎編曲)		AR3
	春(「和声と創意の試み」第1集「四季」から)		いろいろな楽器による合奏	A. ヴィヴァルディ (川崎祥悦編曲)		AR2・低音楽器
	I G o t R h y t h m		いろいろな楽器による合奏	G. ガーシュイン(佐井孝彰編曲)		AR・低音楽器(リズム伴奏の例) キーボード・ハイハットシンバル・スネアドラム(小太鼓)・バスドラム(大太鼓)など
	笑点のテーマ		いろいろな楽器による合奏	中村八大(赤羽耕史郎編曲)	日本	SRまたはAR・ギター
	海の見える街(映画「魔女の宅急便」から)		二重奏	久石譲(三宅悠太編曲)	日本	SR・ARまたはAR2
	美女と野獣(映画「美女と野獣」から)		二重奏	A. メンケン(向山志門編曲)		SR・ARまたはAR2
アンサンブル	トリストレーザ		いろいろな楽器による合奏	H. ロボ・ニルティエーニョ (滝口亮介編曲)		SR・AR(リズム伴奏の例)アゴ ゴ・シェーカー・大太鼓など
	ブルタバ(モルダウ) (運作交響詩「我が祖国」から)		いろいろな楽器による合奏	B. スメタナ(石柙冬樹編曲)		SR・AR・ギター
	大きな古時計		三重奏	H. C. ワーク(大萩康司編曲)		ギター3
	O n e W e e k		三重奏	滝口亮介	日本	手拍子・もも打ち・足踏み
	クラッピンング ラブソング 第1番		いろいろな楽器による合奏	長谷部匡俊	日本	手拍子2・旋律楽器(リズム伴奏の例) キーボード・ハイハットシンバル・スネアドラム(小太鼓)・バスドラム(大太鼓)など
	打楽器のための小品		六重奏	黒澤吉徳	日本	打楽器6(クラベス・カスターネット・ タンブリン・小太鼓・ボンゴ・コン ガ・木箱・空き缶など)
	M A T S U R I		いろいろな楽器による合奏	西川浩平	日本(伝)	篠笛・締太鼓・長胴太鼓
	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル		いろいろな楽器による合奏	四世村屋六三郎 (今藤政太郎・望月太津之採譜)	日本(伝)	三味線・大鼓・小鼓
	世界に一つだけの花		独奏・斉奏	横原敬之	日本	SR
	スウィングしなけりや意味がない		独奏・斉奏	D. エリントン		AR
	木星(管弦楽曲「惑星」から)		独奏・斉奏	G. ホルスト		SR
	誰も寝てはならぬ (オペラ「トゥーランドット」から)		独奏・斉奏	G. プッチーニ		AR
楽器でMelody	交響詩「フィランディア」		独奏・斉奏	J. シベリウス		AR
	少年時代		独奏・斉奏	井上陽水・平井夏美	日本(伝)	箏
	夏祭り		独奏・斉奏	破矢ジンタ	日本(伝)	箏
	荒城の月		独奏・斉奏	滝廉太郎(山田耕作補作編曲)	日本(伝)	三味線
	ものけ姫		独奏・斉奏	久石譲	日本(伝)	篠笛

(表中の記号) SN:ソプラノリコーダー SR:ソプラノリコーダー AR:アルトリコーダー TR:テナーリコーダー BR:バスリコーダー (伝):我が国や郷土の伝統的な音楽

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 発展的な内容を取り上げている箇所】 (中学校 器楽合奏)

発行者	取り上げている内容	具体的な学習の内容
教出	吹く楽器の仲間たち	諸外国の民族楽器や管楽器の紹介。音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目し、音色や旋律の吹き方の特徴を比較する。また、楽器の背景にある文化や伝統について調べる。
教出	弾く楽器の仲間たち	諸外国の民族楽器や弦楽器の紹介。音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目し、音色や弾き方の特徴を比較する。また、楽器の背景にある文化や伝統について調べる。
教芸		

「別紙2-3」【防災や自然災害の扱い】 (中学校 器楽合奏)

発行者	「単元名又は教材名」	
教出	「Let's Try! 千の海響 望の章」 ・【本文】2001年に、神戸21世紀海響祭のために作曲された「千の海響」をもとに、2013年に制作された曲であることの紹介。(P87)	
教芸	「楽しもう！和楽器の音楽」 ・【コラム・写真】神戸市立盲学校和太鼓部の活動として、阪神・淡路大震災からの復興を願う「あじさいコンサート」で発表していることを紹介。(P107)	

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(中学校 器楽合奏)

項目 発行者	ア 目次、表記、表現 の工夫	イ 絵、図、写真、資料、 楽譜等の工夫	ウ 単元構成の工夫	エ 「主体的・対話的で深い学び」 の実現に向けた工夫	オ ユニバーサルデザインの 視点	カ デジタルコンテンツ の扱い	キ その他
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>目次が楽器ごとに色分けされており、本文にも同様の色が使われている。</li> <li>学びのねらいが各ページの左上に記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏方法を示すため、楽器や演奏者を様々な角度から撮影した写真、楽器全体と細部の写真を掲載している。</li> <li>唱歌全般をまとめたページが新設されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半は各楽器の基礎的な知識や奏法をまとめた内容、後半は合奏と創作教材を中心とした内容となっている。</li> <li>段階的、系統的な構成になっている。</li> <li>歌唱や創作の活動と関連付けた教材が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの楽器の特徴を学びながら、気付いたことを友達に紹介する教材がある。</li> <li>学習活動を発展させるヒントが示されている。</li> <li>一つの楽曲に、楽器やオブジョンパートを加えたり、構成を考えさせたりする教材がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>特別支援教育の専門家が、特別支援教育の観点から全てのページを監修している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展的な学習として、「中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と明示されている。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>目次の次のページに、それぞれの項目で身に付けるべき力や学習内容、教材が記載されており、1年間で学習する内容が掲載されている。</li> <li>目次では、楽器ごとに色を分けて示されている。各ページの上部に目次と同様に、色を分けて示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜は見開きで1曲が完結し、途中で譜めくりをする必要がない。</li> <li>楽器の特徴を捉えることができるよう、楽器全体と細部の写真を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めに「アンサンブルセミナー」を示し、器楽の活動を通じた学びに注目できるようにしている。</li> <li>段階的に学習を進めることができるよう、楽器や楽曲の特徴に合った選曲及び配列がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンサンブルにおいて、それぞれのパートを任意の楽器で演奏する曲がある。</li> <li>アンサンブルをする上で、グループごとに話し合い、アーティキュレーションや楽器の種類を自分たちで工夫するよう示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>色彩デザインに関する配慮がされている。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットで各楽器のエキスパートについて、紹介が見られる二次元コードが付されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の奏者からのメッセージや、学習のきっかけとなる参考資料が掲載されている。</li> </ul>